

令和元年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

精度管理総括

佐藤恵彦（関中央病院）



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

受付 6月1日～15日 JAMT-QC

試料発送 8月25日 岐阜市民病院

回答締め切り 9月11日

一次報告書 9月30日 C、D評価 39施設

生化学、免疫血清、一般、フォトサーベイのみ

二次サーベイ試料発送 10月9日～

参加希望施設 是正報告書提出

再入力期間 10月12日～15日

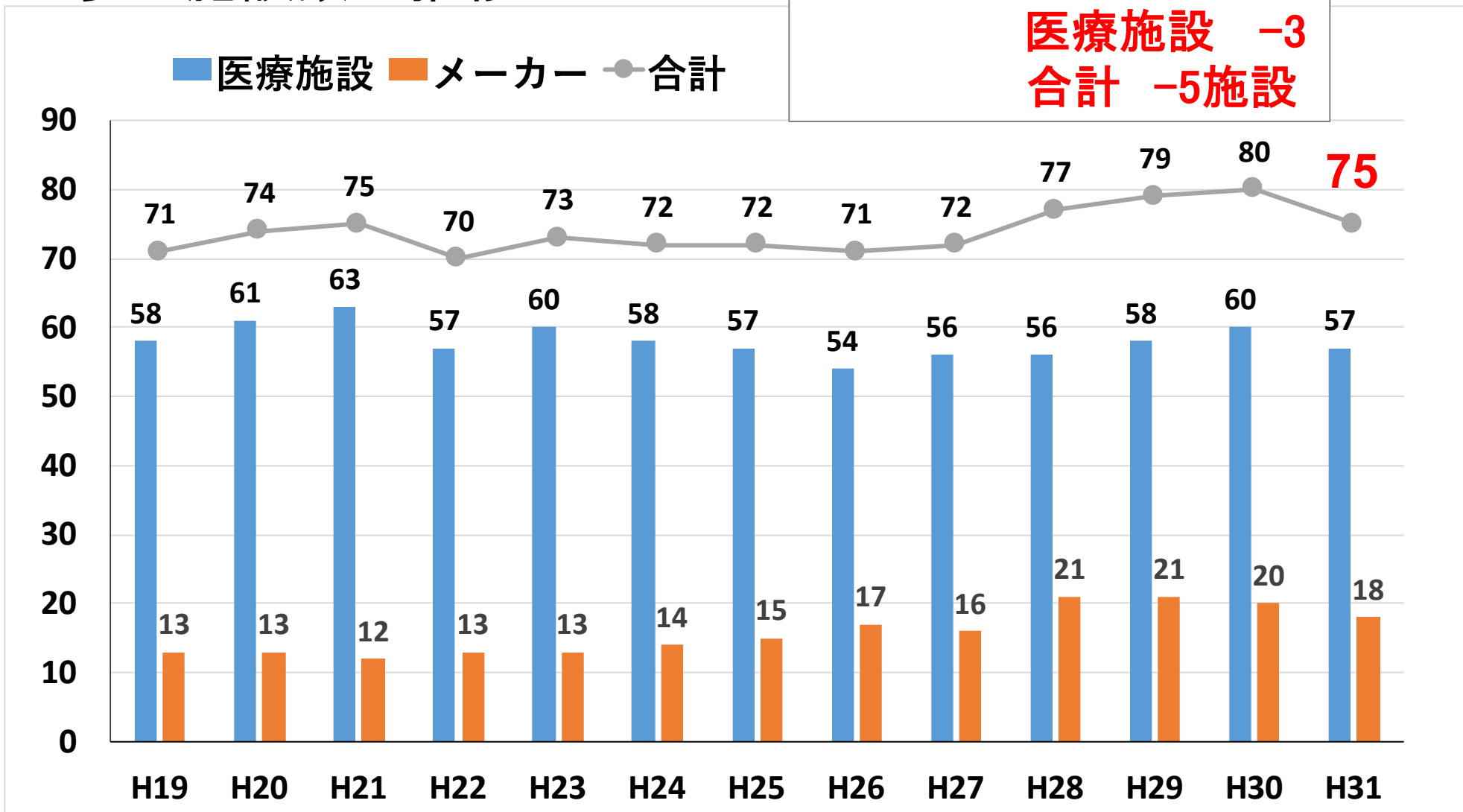
中部圏支部学会の為、期間延長

最終評価 10月25日 第2回精度管理会議

各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

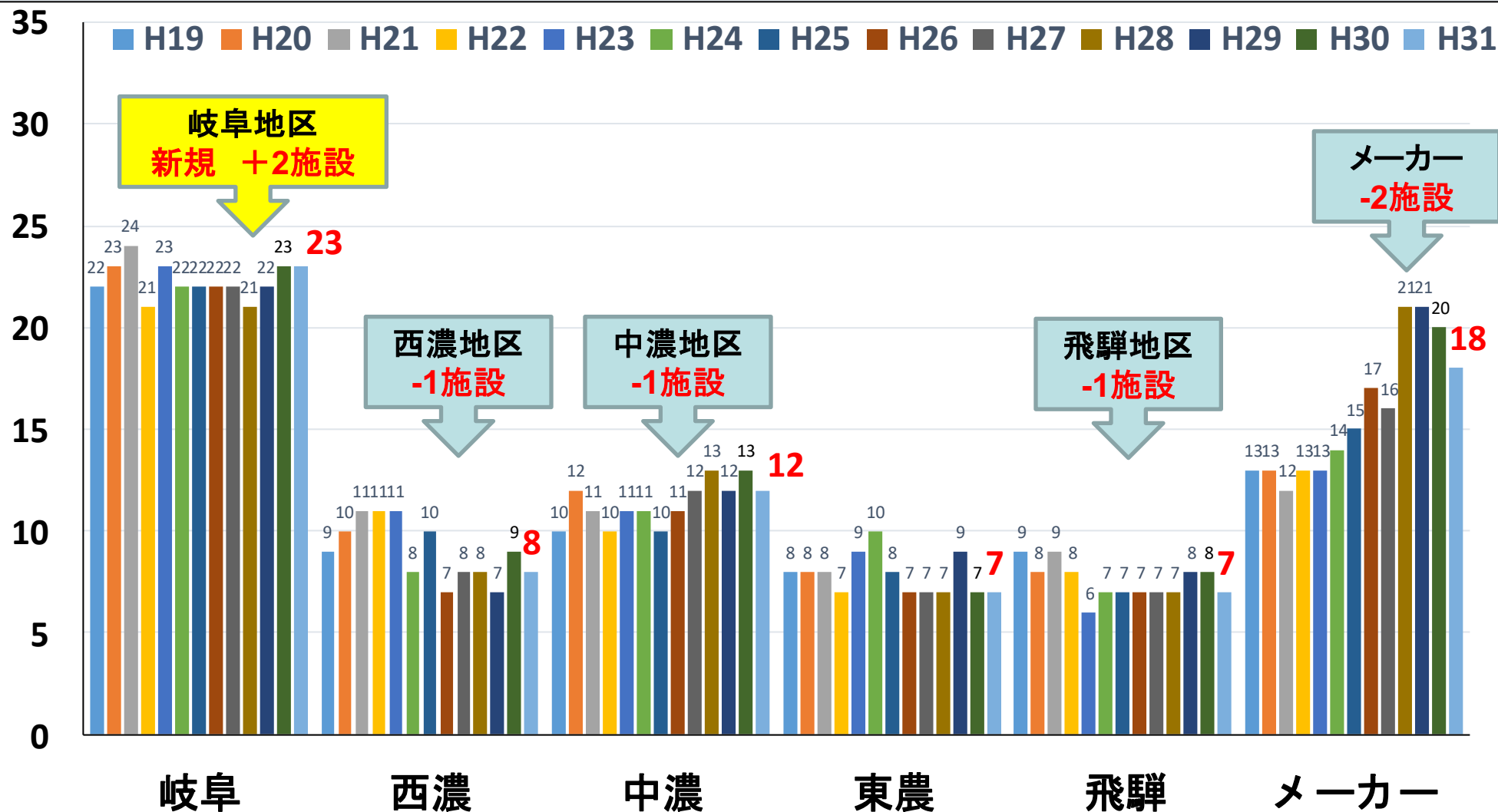
■ 参加施設数の推移

【前年比】 メーカー -2
医療施設 -3
合計 -5施設



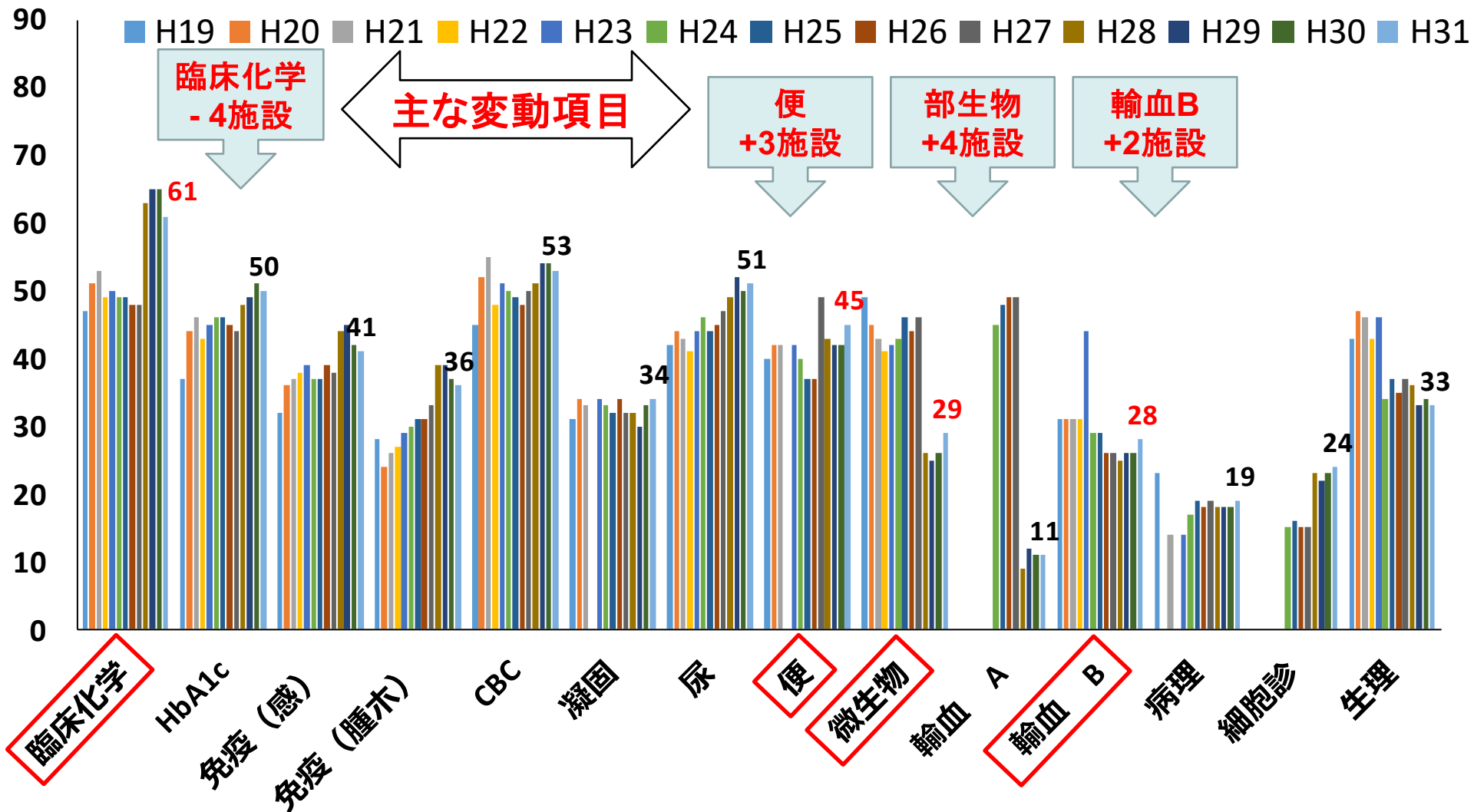
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 地区別参加施設数の推移



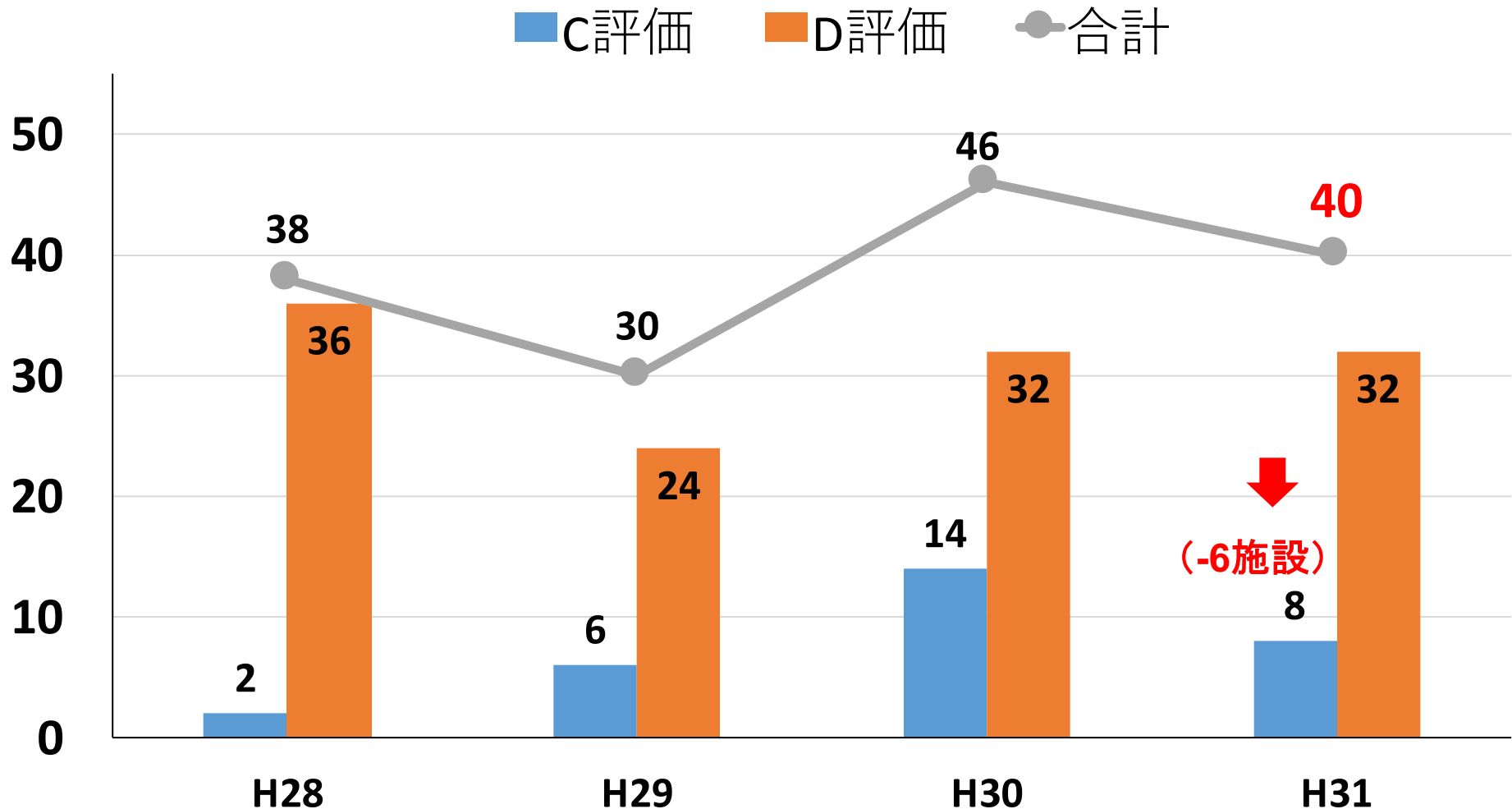
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 試料別参加項目の推移

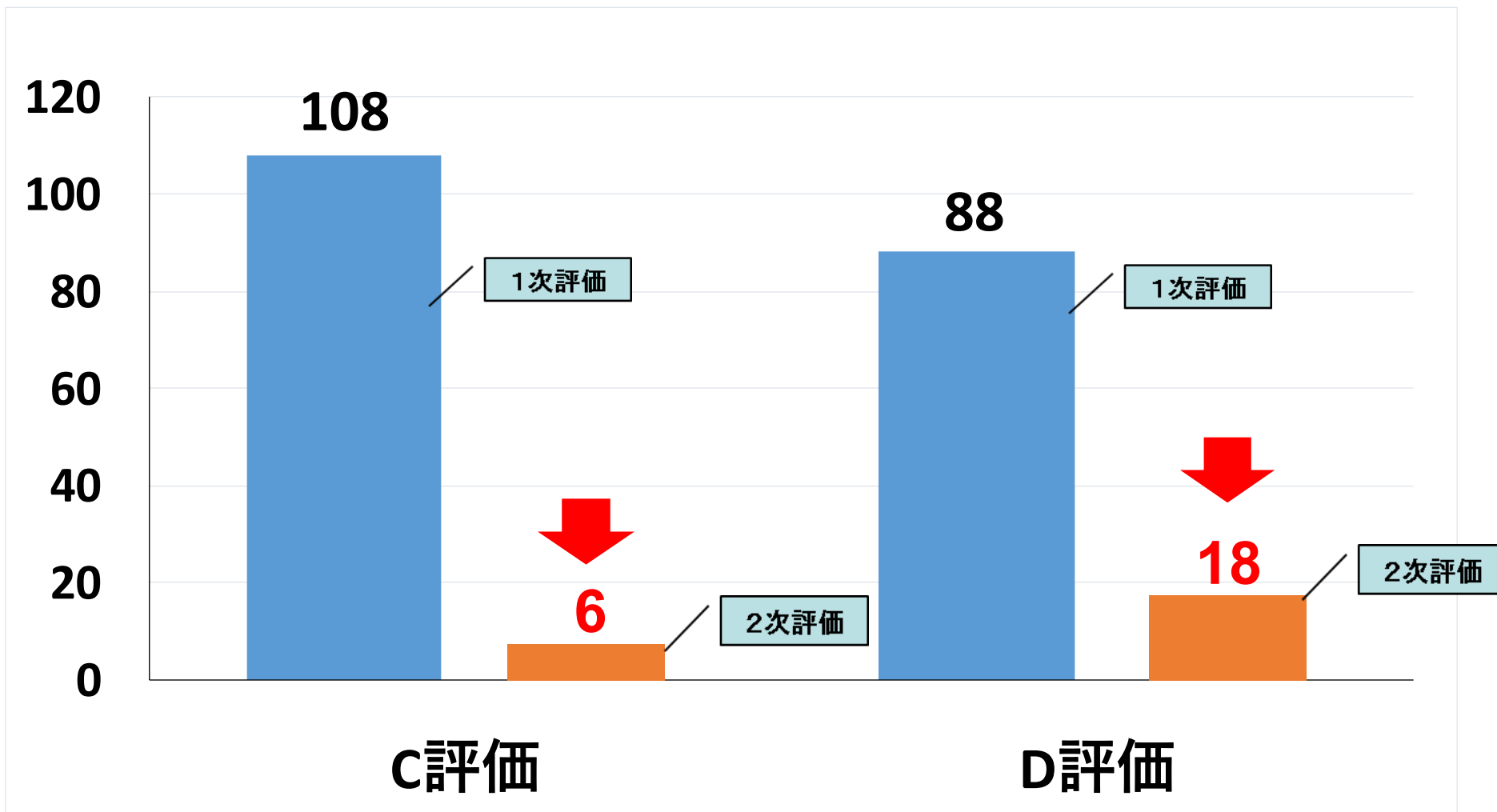


各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

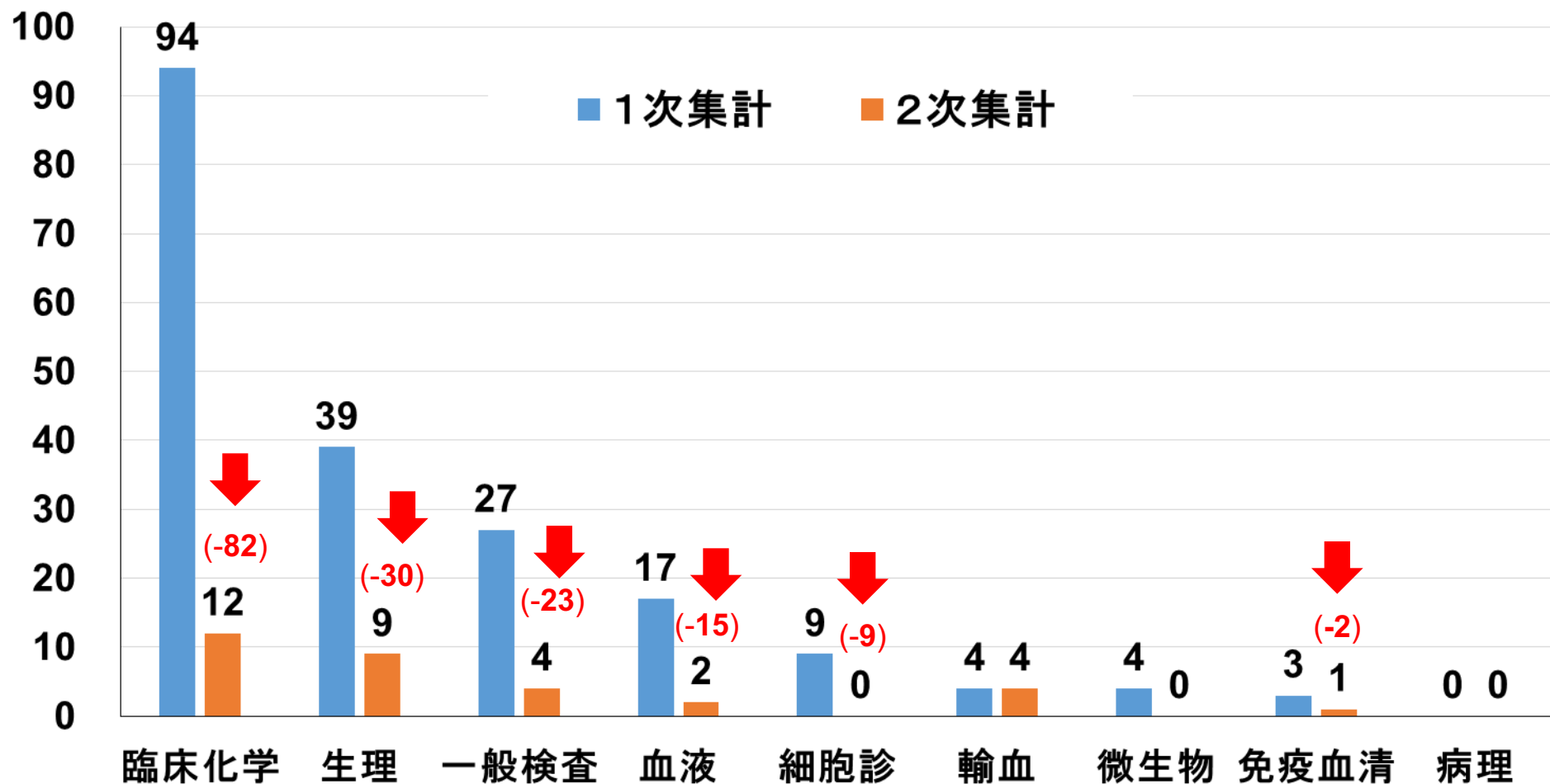
■ 1次評価 C、D施設数の推移



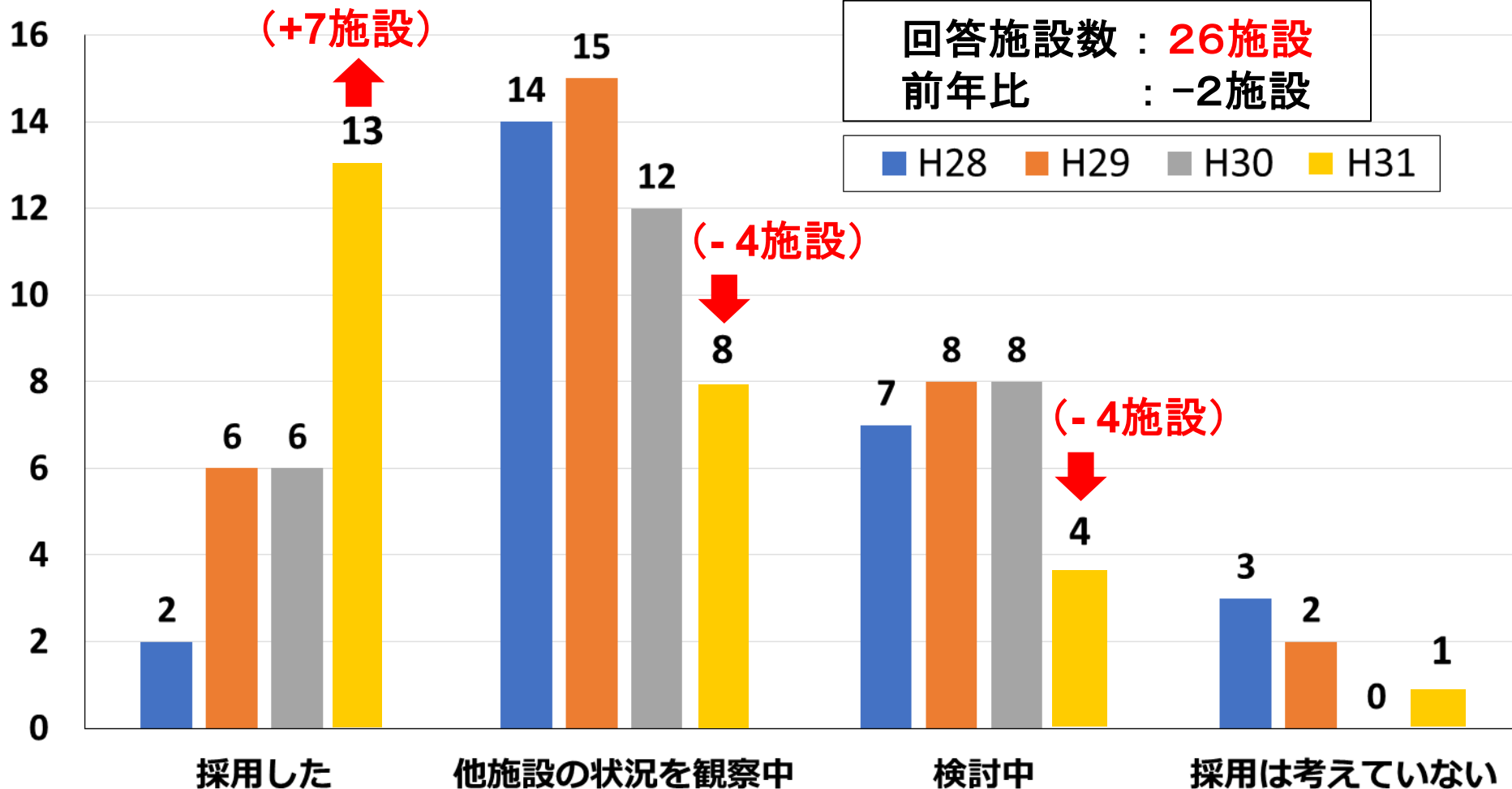
■ 2次評価後のC、Dの項目数の推移



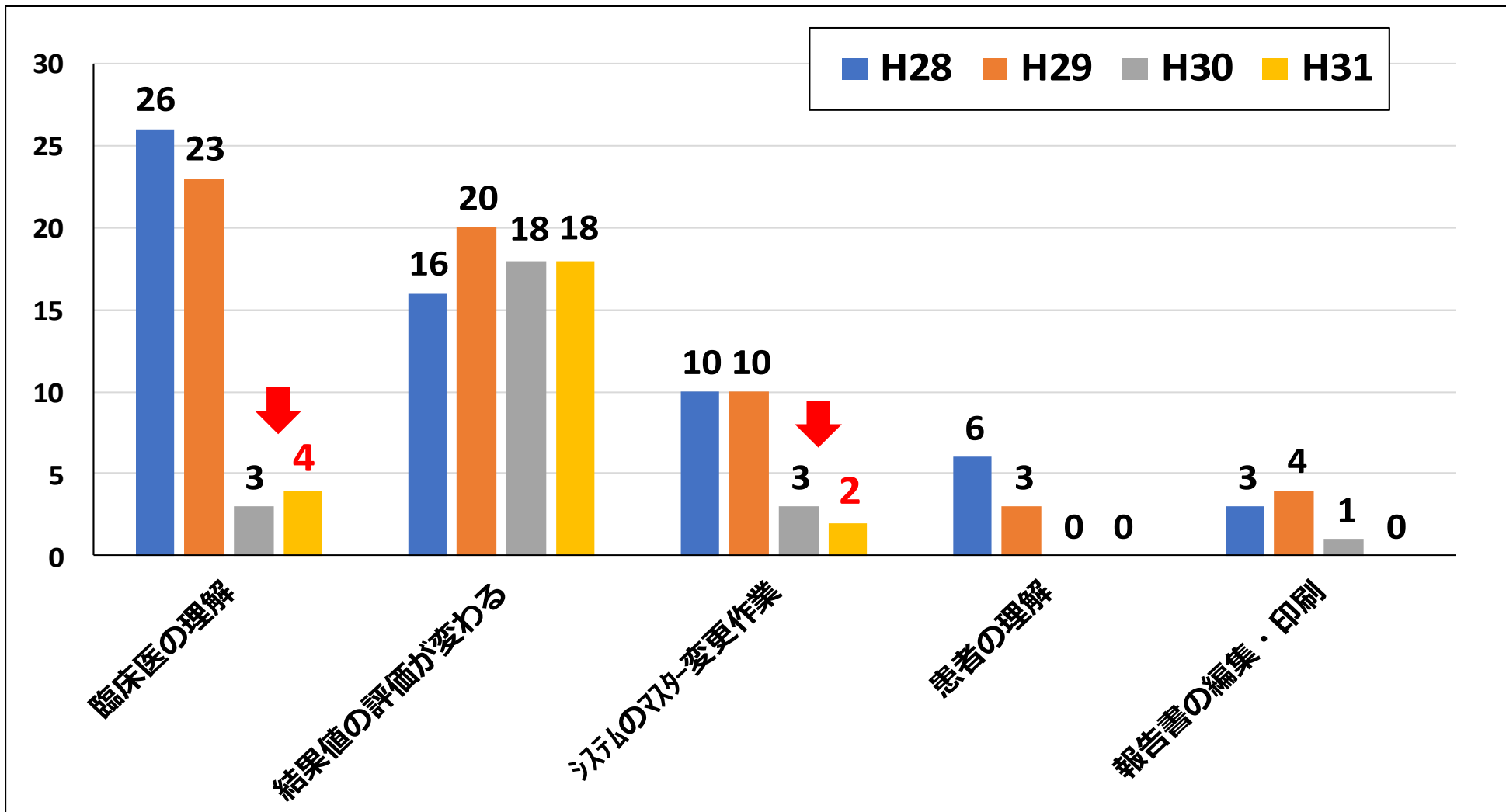
■ 2次評価後のC、D件数の推移(部門別)



■ 共用基準範囲のアンケート調査結果 採用について

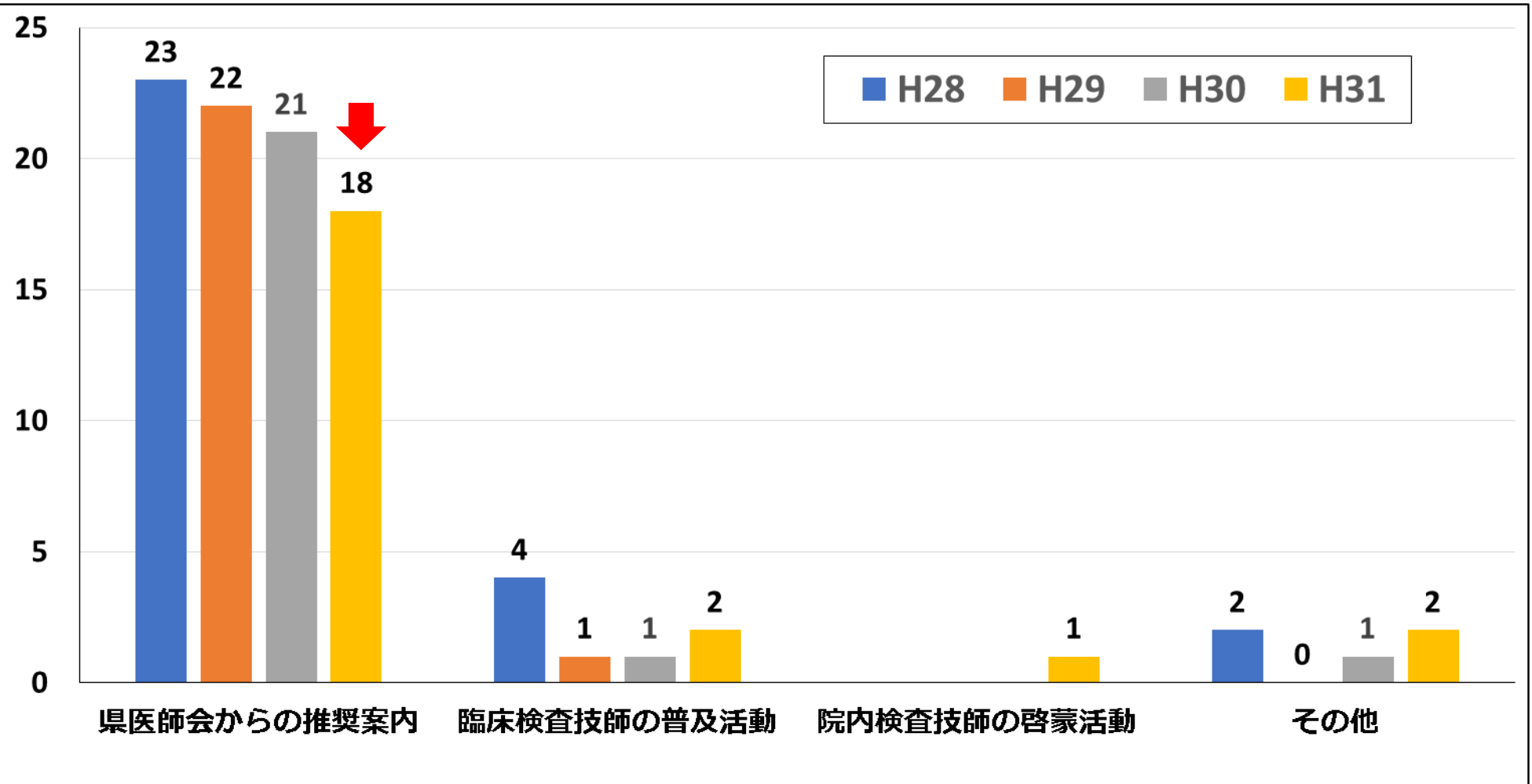


■ 共用基準範囲の採用で障害となる事項は



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 共用基準範囲普及に重要な事は何を考えますか



■ まとめ

1. 参加施設数は、新規の医療施設が2施設増加したが、合計は75施設で昨年と比較して5施設減少した。
2. 1次評価はC-108件、D-88件であったが、2次サーベイ後の評価はC-6件、D-18件に減少し、検査精度の改善が見られた。
3. 共用基準範囲の採用は、昨年度6施設であったが、今年度は16施設に増加した。昨年度までは採用障害として「臨床医の理解」、「システムマスター変更作業」が多かったが、大幅に減少しており、他施設観察中と採用検討中の施設が採用したと考えられた。